



第75号

港北区スポーツ推進委員
連絡協議会広報紙

活き 生き スポ進

KOHOKU

令和5年3月発行

●発行者
港北区スポーツ推進委員連絡協議会
●編集
港北区スポーツ推進委員連絡協議会
●事務局
横浜市港北区大豆戸町26-1
横浜市港北区役所地域振興課内
電話 045-540-2238
FAX 045-540-2245



第38回港北駅伝大会

大会概要
開催日時：令和5年1月9日(月・祝)
会場：日産フィールド小机
(新横浜公園周回コース)
参加者：154チーム(選手913人)

第38回港北駅伝大会に寄せて

綱島連合Aチーム 監督 古家彰一 (綱島地区スポーツ推進委員)

地域振興課、港北駅伝大会実行委員会の皆様、そして準備段階から苦勞された連合町会の皆様、書ききれない程の支えや我慢、努力があったからこそ素晴らしい舞台で私達選手が全力を尽くせたと思っています。心から感謝を申し上げます。

コロナ渦の3年間、集まって走ることは密になるためどこかでストップがかかり、止まってしまう中で、諦めず乗り越えたのは近隣地区が協力し「港北駅伝の灯を消すな」と立ち上がったからだ。「ライバルとして闘うのは港北駅伝だけで、後は港北区で繋がり走ることを広めませ

んか」という大倉山木村監督の言葉に胸打たれた。コロナに負けず楽しいイベントを考えて工夫して挑んだ。

大倉山のふとリンピック(ミニ記録会)、大曽根主催ランニング教室への参加、綱島主催走る夏祭り(走るゲーム大会)、そして真剣に練習した横浜市陸上運動記録会、小学生はまっ子駅伝に樽町・日吉・大曽根・大倉山・綱島の子供たちが一緒に参加した。それを機に各地区スポ進会長へ「走りたい」と集まった子供たちを港北駅伝へ出して欲しいと手紙を書いた。会長方は皆快諾してくれ、コロナを乗り越え繋がった子

供たちが港北駅伝を走る夢が実現した。綱島小泉会長、樽町角田会長、大曽根大島会長、日吉喜田会長に心から感謝。そして、大切なのは港北駅伝の未来。スポ進主催で港北駅伝に向けて各地区へ何か発信できないか。走りたい子供や大人を集めたランニング教室開催や外部コーチによる指導者育成講習会、チーム立上げや運営方法について話し合う等。各地区がひとつになれば変革が起こるかもしれない。



	連合町内会の部	一般男子の部	高校男子の部	一般女子の部	高校女子の部	中学男子の部	中学女子の部
距離	16km	19km	19km	15km	19km	15km	15km
第1位	綱島連合Aチーム 01:11'59"	好き顔 00:50'54"	三浦学苑高校 00:58'57"	A.Girls 01:21'46"	白鷺女子高校 01:06'03"	相模原中等教育学校 00:53'41"	樽町中陸上競技部A 01:02'21"
第2位	大倉山連合町会A 01:12'54"	酒RUNC 00:55'12"	慶應義塾高校A 01:01'18"	Healthywomen 01:24'37"	三浦学苑高校 01:07'30"	横浜市立新田中学校A 00:54'12"	相模原中等教育学校 01:04'30"
第3位	日吉B 01:17'29"	あすなる親睦会 00:55'59"	荻田 01:02'28"	ClassicGirl 01:25'13"	荻田高校 01:11'44"	日大中 00:55'01"	横浜市立高田中学校 01:05'42"
第4位	綱島連合Bチーム 01:18'00"	神工S.A.C. 00:56'26"	横浜市立金沢高校 01:04'00"	Lucky Girls 01:29'14"	相模原中等教育学校 01:20'55"	大綱中A 00:55'59"	大綱中 01:06'17"
第5位	大曽根連合選抜Z 01:18'14"	SUIRAN-R 00:59'55"	慶應義塾高校B 01:04'05"		中央大学附属横浜高校 01:22'01"	日吉台中学校男子A 00:57'05"	日吉台中学校女子A 01:06'19"
第6位	大倉山連合町会B 01:18'33"	関東学院中学校高等学校 01:00'17"	横浜翠嵐 陸上競技部 01:04'28"		横浜清風高等学校 01:34'05"	樽町中陸上競技部R1 00:57'29"	樽町中陸上競技部A 01:13'15"
第7位	綱島連合Cチーム 01:20'13"	三ツ沢友の会 01:01'00"	相模原中等教育学校 01:04'50"			樽町中陸上競技部2 01:00'33"	樽町中陸上競技部B 01:13'16"
第8位	樽町スターズ 01:21'20"	江田坂46 01:01'07"	横浜清風高等学校 01:05'10"			日大中B 01:00'38"	樽町中陸上競技部EB 01:15'39"



連合町内会の部で上位入賞された皆様

第2区 小学4~6年生女子 進藤 美波 (網島連合Aチーム)

私が初めて港北駅伝大会に参加したのは小学校3年生の時。チーム優勝と区間賞をとることができ、走る楽しさを初めて知りました。

中止が続いた大会が、今年は開催されると知った時は網島ランニングクラブのみんなで喜びました。私は、「またチームで優勝して区間賞をとりたい」という目標ができ、クラブや家族とたくさん練習に励みました。長い練習期間中、体力的にきつかったり、気持ちが折れそうになったり、タイムが出ずに悔しい思いもしたけれど、いつも励ましてくれる監督やコーチ、一緒に走ってくれるいいライバルがいたからこそ乗り越えられました。

当日は緊張したけれど、たくさんの応援の中、全力で走りぬき、目標を達成できて良かったです。頑張ることや仲間と助け合うことを教えてくれた港北駅伝大会がこれからも続いていくといいなと思います。



第4区 40歳以上 中尾 竜平 (大倉山連合町会A)



はじめまして。大倉山連合Aで4区を走りました中尾です。息子と地域の陸上練習会に参加したことがきっかけで、私の方がランニングにハマリ、今回チームの一員として出場することができました。

皆様はよくご存じと思いますが、ここ大倉山地区の壮年男子は健脚揃いです。先輩ランナーから「4区を走れば区間賞いけるぞ」と、コースやタイムの助言をいただき(その人は私よりも年上ですが、当日3区を代走。男気よ!)、そんなお膳立てがあつての結果でした。初めての駅伝は、地域の方々のサポートがあり、世代を超えた交流があり、何より37回の勝負の歴史と伝統が感じられた濃密な一日でした。

大人も子供も真剣に走る姿は理屈抜きに格好良かったです。最後に一言。お正月は箱根駅伝だけじゃない!港北駅伝連合町内会の部が毎年熱い!!

第6区 女子高校生以上 井上 汐莉 (日吉B)

子どもの頃から駅伝が好きで、地元では大小さまざまな駅伝大会に参加していました。大学生になってから駅伝に出場する機会がなかったので、今回日吉チームの一員として出場させていただいて嬉しかったです。当日は快晴で風も穏やかな中、気持ち良く走ることができました。チームメイト以外の方にも沿道からたくさん応援していただき、とてもあたたかく楽しい大会だと感じました。



私は小学生の頃、駅伝でチームとして一緒にたたかったお姉さんお兄さんに憧れたのがきっかけで、ここまで陸上を続けてきました。今度は私が、小学生に陸上や駅伝の楽しさを知ってもらおうきっかけになれば嬉しいです。ぜひまた出場させていただこうと思います。ありがとうございました!

第8区 小学1~3年男子 鈴木 陽也 (大曾根連合選抜Z)



「おめでとう!区間賞だよ」と言われてとてもうれしかった。初めての駅伝大会でぼくは、スタートが近くなった時はドキドキしたけどがんばるぞ!と思いました。ぼくは、駅伝の選手に選ばれてから練習で長い距離をたくさん走った。

長い距離は走っている途中で辛くなったり、苦しくなったりしてやりたくない時もあったけど、チームの仲間や友だちが、がんばっているのを見て、ぼくも一生けんめいがんばった。駅伝大会で走った時に応援に来てくれたみんなから、がんばったね、良かったねと言われて、ぼくは練習をがんばって良かったと思った。

初めての駅伝大会だったけど、チームで走るのが楽しかったから、また駅伝大会に出ることができるようがんばろうと思った。

連合町内会の部 区間記録

区間	距離	1位			2位			3位		
		氏名	チーム	記録	氏名	チーム	記録	氏名	チーム	記録
1区	4km	櫻井 亮太	網島連合Aチーム	00:12'06"	井上 丈瑠	日吉B	00:12'26"	有賀 裕亮	大倉山連合町会A	00:13'00"
2区	1km	進藤 美波	網島連合Aチーム	00:03'58"	山河 楓	網島連合Bチーム	00:04'13"	小川 桃果	網島連合Cチーム	00:04'15"
3区	3km	菅谷 希弥	網島連合Bチーム	00:09'04"	矢原 功大	網島連合Aチーム	00:09'12"	鈴木 陸斗	網島連合Cチーム	00:09'31"
4区	3km	中尾 竜平	大倉山連合町会A	00:09'37"	樋口 大輔	網島連合Aチーム	00:10'31"	進藤 貴大	網島連合Bチーム	00:10'38"
5区	1km	樋口 優大	網島連合Aチーム	00:03'47"	小野寺 慧	大倉山連合町会A	00:03'48"	島村 彰博	大倉山連合町会C	00:03'52"
6区	3km	井上 汐莉	日吉B	00:10'52"	北原 怜奈	大倉山連合町会A	00:11'14"	神田 陽向	日吉A	00:11'18"
7区	1km	白井 優	網島連合Aチーム	00:04'23"	齋藤 日菜	網島連合Cチーム	00:04'36"	小川 梨夏	網島連合Bチーム	00:04'42"
8区	1km	鈴木 陽也	大曾根連合選抜Z	00:04'16"	阿部 友翔	大倉山連合町会A	00:04'18"	松南 奏妥	網島連合Bチーム	00:04'22"
9区	3km	進藤 小春	網島連合Aチーム	00:10'29"	上田 玲奈	大倉山連合町会A	00:11'09"	矢野 愛弓	大倉山連合町会B	00:11'38"



令和4年度 スポーツ推進委員功労者表彰 (文部科学大臣表彰)を受賞

港北区スポーツ推進委員連絡協議会 会長 **小松賢吉**



スポーツ推進委員功労者表彰とは？

文部科学省では、スポーツ推進委員(体育指導委員を含む)として地域スポーツの推進に功績顕著な者を対象に、各都道府県教育委員会等の選考を経て推薦され、文部科学大臣が「スポーツ推進委員功労者」として表彰しています。今年度は全国で84人、横浜市からは3人の委員が選ばれました。



スポーツ推進委員功労者表彰受賞インタビュー

Q1 文部科学大臣表彰を受賞した感想をお願いします。

耳の聞こえない私が27年間もの間地域活動を続けることができたのは、障害者でも活躍できる場を用意してくださった地域の先輩諸氏。できないことを手助けしてくださった各区・各地区会長の皆さん、地域の皆さん。そして、市民局、港北区役所事務局の適宜適切なご支援のお陰です。受賞は、横浜市と港北区の地域活動を評価していただいたもの。嬉しいです。



Q2 地域活動は始めたきっかけを教えてください。

平成7(1995)年1月に「阪神淡路大震災」が、3月に「地下鉄サリン事件」の発生を機に、ご近所や地域の助け合いが「命を繋いでいる、ことや、親の目の届かないところで子どもたちの安全を守ることができるのは、地域住民の眼差しだということに気づいたことから地域活動に参加するようになり、平成11(1999)年から横浜市体育指導委員として活動しています。

Q3 スポーツ推進委員活動の魅力とは何でしょうか。

スポーツを推進することは、人との出会いを創造すること、に通じます。住民の皆さんが顔見知りになれば、それだけで安心できますし、子どもたちを非行や犯罪被害等から守ることもつながります。

スポーツは多くの人々に嬉しさ、共感、感動を与え、世代を超えた絆を醸成し、人々の心をひとつにする力を持っています。スポーツの精神に則って地域の和を育むことは、顔の見える地域を創造し、健康で安心して暮らせるまちづくりに貢献することができます。

Q4 小松会長ご自身も障害をお持ちで活動されていますが、共生社会を築いていくためにスポーツ推進委員としてできることは何でしょうか。

理想は「共生」そのものが意識されない社会。健常者と障がい者が同じ土俵で一緒にプレーしたとして「違和感を感じる」ことがない、ことがスポーツにおける真の「共生」だと思っています。いつも一緒、身近な存在であることが最も必要なこと。

そのためにも、団体や組織のなかで一緒に活動していただいたり、地域のケアプラザや福祉施設と協力して健常者と障がい者が一緒にスポーツを楽しめる機会を作ったり、大会やイベントを実施する際は、様々な境遇の方に自由に参加していただけるよう配慮するなど、自然な交流ができる環境を作っていくことが大切です。

Q5 「共生」そのものが意識されない社会って、どのような社会でしょうか。

車いすで移動するのに時間を要したとしても、手が不自由で書類に署名することができなくても、顔面麻痺があっても笑顔を作ることができなくても、耳が聞こえなくて議事内容は議事録でしか確認できなくても...そのことに誰も違和感を覚えることがなく、必要な手助けや支援についても、「特別に対応している」といった意識や感覚がない風土です。

あらゆる境遇の方がさまざまな社会で活躍されるようになれば、想定できないようなあらゆる事態が起きる可能性が出てきます。そのような状況に対し、臨機応変に手助けや支援ができるようになることで、自然な「共生」が育まれていくと思います。

Q6 港北区スポーツ推進委員の皆さんにメッセージをお願いします。

第33期はコロナ禍で思うように活動できませんでしたが、来年度は少しずつ活動できるようになると思います。スポーツ推進委員の活動は横浜市公務員としての職務であることを常に忘れることなく、何事も俯瞰的に考え、第3期横浜市スポーツ推進計画の取組と港北区運営方針、特に「安全に、安心して暮らせるまちづくり」のために誇りをもって活動していただきたいと思います。



小松 賢吉

港北区新羽町在住。1959年東京生まれ。幼少期から難聴。
現在は聴覚障害2級(最も重い等級)

大学を卒業後、電機メーカーのプログラマーを経て障がい者枠で横浜市役所に入庁。2020年に定年退職。1999年横浜市体育指導委員。2009年「顔の見える地域の創造」を掲げて新羽地区スポーツ推進委員連絡協議会会長に就任。2017年港北区スポーツ推進委員連絡協議会会長に就任。2021年横浜市スポーツ推進委員連絡協議会副会長に就任。学生時代はサッカー、バレーボール、柔道。社会人になってから水泳をはじめ、現在はイベントなどの出張写真撮影サービス、ホームページ制作請負。休日は日本の原風景を撮影するためカメラ抱えて自転車とカヤックで日本全国を駆け巡る。2児の父。

第36回 港北区グラウンドゴルフ大会



新吉田さわやかA

大会概要

開催日時：令和5年3月5日(日)
 会場：鶴見川樽町公園 多目的広場
 参加者：48チーム(選手288人)

優勝チームインタビュー

インタビュー代表者：碓谷 久志さん



Q.優勝の感想をお聞かせください。

やるからには優勝を目指してやっていた。優勝できなくても3位くらいまでには入りたいと思い試合に臨みましたが、日ごろの練習の成果が発揮でき優勝できて嬉しいです。

Q.何が優勝につながりましたか？

やはりホールインワンが出た事が大きいと思います。

Q.週何回練習していますか？

50mの距離は取れないが、地域の公園で週に2回、土日に練習しています。また月2回、小学校でも練習しています。

Q.今後の抱負をお聞かせください。

なかなか難しいと思うが、できれば連覇を目指し頑張って練習していきたいです。

Q.メンバーは何人位で練習していますか？

女性7人、男性11人、合計18人で練習しています。

Q.久しぶりの大会出場はどうでしたか？

20回以上この大会には出場している。大会を目標に練習も頑張れるので、このような大会が開催されることは非常に良いと思います。



大会結果

入賞チーム			
	チーム名	地区名	スコア
優勝	新吉田さわやかA	新吉田	238
準優勝	鶴ねんクラブB	綱島	244
第3位	樽町親友クラブAチーム	樽町	244

個人成績				
	チーム名	地区名	名前	スコア
1位	東町自治会チーム	綱島	池田 恵子	32
2位	新吉田さわやかA	新吉田	大根田 義治	34
3位	樽町親友クラブAチーム	樽町	小野里 忠男	35

ホールインワン賞		
チーム名	地区名	名前
仲手原自治会	篠原	斉藤 眞幾男
新吉田さわやかA	新吉田	大根田 義治
新生町内会	新吉田	濱田 泰弘
白樺GGクラブ	大倉山	中山 晴陽
菊名南	篠原	渡部 祥子
シンガーデンコート	樽町	藤川 博喜
東町自治会チーム	綱島	児島 勇
新吉田さわやかA	新吉田	八城 茂
あすなるさわやか	新吉田あすなる	矢崎 豊子

※当日は4番ホールのみをホールインワン賞と設定。

ハイスコア賞インタビュー

34打



大根田 義治さん
所属チーム
新吉田さわやかA

Q.ハイスコア賞の感想をお聞かせください。

普段の練習の成果が出てよかった。初めての受賞であり大変うれしいです。

Q.日頃からどのような練習をしていますか？

地区の小学校のグラウンドを2か所借りており、週2回、約20人の老人会メンバーで練習をしています。

Q.次に向けての抱負と練習方法についてアドバイスをお願いします。

団体、個人の2連覇に向けて、また明日から練習します。練習は、お互いに教え合って楽しくやるのが大切だと思います。

32打



池田 恵子さん
所属チーム
東町自治会チーム

Q.ハイスコア賞の感想をお聞かせください。

こんなスコアが出てビックリしました。ホールインワンが2回出たおかげです。参加者の中で一番スコアが高かったのが嬉しかったです。年齢を重ねてもプレイできるスポーツのため、これからも続けていきたい。

Q.本大会の調子はどうでしたか？

平常心で臨めた。2ラウンド目は特に落ち着いてプレイできた。

Q.何がハイスコアの決め手になりましたか？

前半の7・8ホール目にホールインワンを取れたことが決め手となりました。

Q.週何回練習していますか？

1週間に1回程度。



永年勤続 20年表彰

大倉山地区スポーツ推進委員 会長 高山 一弘

このたび、スポーツ推進委員永年勤続20年の感謝状を頂き、大変光栄なこと、感じております。

20年前、前任の方が、定年になるとのことで、健民祭、ソフトボール等、町内対抗行事に参加していた為か、町会長より「体育指導員(スポーツ推進委員の旧称)をやってほしい」と声をかけられました。その頃、私は太尾走ろう会とさわやかスポーツとして活動していたソフトバレーボールの練習に参加していたので、体育指導員のメンバーには知り合いの方が

多く、お引き受けすることになりました。

この20年間、スポーツ推進委員として町会、区、市の行事を通じて、色々なスポーツの楽しみを知ることができました。特に、町会の行事(健民祭、ソフトボール大会、グラウンドゴルフ大会、ペタンク大会、ソフトバレーボール大会、各種のお祭り等)では、スポーツ推進委員の仲間と協力して運営し、また多くの人々と知り合うことができ、良い経験となりました。私は今季で定年となりますが、これからは選手として地域・区の行事に参加して、スポーツを楽しんで行きたいと思っております。



永年勤続 15年表彰

篠原地区スポーツ推進委員 酒井 章充

地元の友人に誘われて参加したのが、スポ進との関わりのスタートでした。退職後の地域に於ける交流の場の一つとして、地元での人脈の拡大にとっても有効に活用させて頂くとともに、日頃の運動不足解消の一助としても、貴重な場を提供して頂けていると感じています。

更には、地域の子ども達とのユニホックや親子スキー教室を通じた交流や、横浜市や

は港北区の種々イベントのサポートに参加することで、今迄縁のなかった多くの活動に積極的に携わることが出来、地域に対する愛着心を養うことが出来たと感じています。

これからも、健康に配慮しつつ、経験したことのない新しいスポーツに親しみ、地域の仲間と更なる交流 拡大に繋げるべく、自分の余暇時間の有効活用として、スポ進活動に勤しんで行けることを期待しています。



令和4年度 横浜市スポーツ推進委員永年勤続者

10年表彰者	
氏名	地区
加藤 英美	菊名
三好 美穂	篠原
岸 陽介	城郷
高遠 裕治	新吉田あすなろ
島田 万佐彦	師岡
秋葉 達哉	師岡
小林 輝雄	新羽

15年表彰者	
氏名	地区
酒井 章充	篠原

20年表彰者	
氏名	地区
高山 一弘	大倉山



広報活動を振り返って

大倉山地区 スポーツ推進委員 書間 俊雄

スポーツ推進委員(以前は体育指導員)を拝命して22年、広報委員になって12年。今年で退任するにあたり委員長より最後にもう働かせよと厳命。以前は「活き生きスポ進」の発行は年4回(現在は3回)で区役所主催の行事だけでは紙面が埋まらず、原稿集めが大変。そこで、何か知恵はないかと広報委員にお願いし、町会行事や隠れた町の名人の紹介、はたまたペタンクが一般に認知されていない時期では、ペタンクの勝ち方などの特集記事を掲載し、やっと発行にこぎつけたこともありました。

広報委員から原稿の依頼がありました際には是非ご協力の程お願いいたします。私の寄稿はこれが最後になりますが、ペタンク大会で優勝(4回優勝した実績あり)できた時にはまた投稿させていただきます。

編集後記

令和3年度は、港北区3大スポーツイベントが開催できず、活動が抑制されておりましたが、令和4年度は、各種大会が徐々に開催できたため、広報委員



の編集作業も充実してきました。広報誌の在り方も含めて尽力をいただいた33期は、今号をもって終了です。お疲れ様でした。